

フラックス観測・ネットワーク国際ワークショップ

～ 開催のご案内～

国立環境研究所 地球環境研究センター

1. 趣 旨

陸域生態系による温室効果ガス(二酸化炭素)フラックス観測については、地球温暖化防止における吸収源の評価をする上できわめて重要であり、これまで、欧米を中心として、EUROFLUX(欧州)、AmeriFlux(北米)などの地域的なフラックス観測ネットワークが構築され、長期にわたるフラックス観測が行われてきています。

これらの状況のもと、アジア地域におけるフラックス観測についてのネットワークを構築しようとする機運が高まる中で、国内の研究者により、「アジアフラックス・ネットワーク」の活動が1999年9月に開始され、国立環境研究所を事務局として2000年3月にはホームページを開設し国内外の観測サイトなどに関する情報提供を行っています。

この度、アジアフラックスのネットワークづくりをより一層推進するとともに、国内外のフラックス研究者・グループ同士の交流を促進することを目的として、国際ワークショップを開催することとしました。

2. テーマとトピックス

ワークショップでは、フラックスの測定精度を高めるための技術討論と、これまでの各地でのフラックス観測から得たデータや成果の交換と評価、さらには、アジアにおける観測ネットワークづくりの促進に向け、アジア諸国を含めた国際協力基盤づくりについても議論することとしています。

ワークショップでは、招待講演者による講演のほか、研究者によるポスター発表を予定しています。主なトピックスは、以下のとおりです。

[全体的事項]

- ：国際フラックスネットワークの構築
- 国内外のフラックス観測研究活動に関する情報交換

[アジアフラックスの紹介]

- ：アジアフラックス各観測サイトにおける国際連携のあり方

[フラックス観測手法に関するトピックス]

- ：環境条件に応じた精度確保の技術的手法に関する討論

3. 開催時期及び場所

[期 間] 2000年9月27日(水)～29日(金)

[場 所] ワークショップ：北海道大学百年記念会館

札幌市北区北8条西6丁目 TEL 011-716-2111 内線3211

現地視察：北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林(苫小牧市高丘)

苫小牧フラックスリサーチサイト(苫小牧国有林)

4. 主催等

- [主催] フラックス観測・ネットワーク国際ワークショップ実行委員会
[共催] 環境庁国立環境研究所
通商産業省
米エネルギー省
北海道大学 / 農学部附属演習林
新エネルギー・産業技術総合開発機構
国際エネルギー機関 / C T I
[後援] 学術会議IGBP専門委員会

5. 日程 (敬称略)

- 9月27日(水) 9:30 受付開始
10:30 オープニングセレモニー
実行委員長 名古屋大 福嶋
国立環境研究所長 大井
通産省環境立地局地球環境産業技術統括官 餅田
国際エネルギー機関 中村
米国エネルギー省
北海道大学
11:30 昼食
12:30 セッション1「アジアフラックスネットワークについて」
12:30 AsiaFluxについて(福嶋)
12:50 AsiaFluxによるフラックスネット拡大に向けて(Eva.Falge(独))
13:15 AsiaFluxのデータベースセンター構想(環境研 井上)
13:30 温帯広葉樹林における長期観測結果(資源研 山本)
13:45 川越サイトにおけるフラックスの季節変動(森林総研 渡辺)
14:00 東シベリアにおけるフラックス観測(名古屋大 檜山)
14:15 草地におけるE_{レキ}-動態とフラックス(筑波大 及川・S.Li)
14:30 釧路湿原サイトにおけるCO₂とメタンのフラックス(農環研 宮田)
14:45 西日本の畑地におけるフラックスの季節変動(岡山大 大滝)
15:00 コーヒーブレイク及び記念写真撮影
15:30 セッション2「AmeriFlux, EUROFLUXのサイトからの観測報告」
15:30 AmeriFluxサイトにおける観測報告(Beverly Law(米))
16:00 Tower-FluxとAir-born Fluxについて(W.Oechel(米))
16:30 リモセンによる地域スケールのフラックス評価
(S.Running(米))
17:00 EUROFLUXにおける観測報告(R.Valentini(伊))
17:30 中央シベリアにおける炭素・水・エネルギー交換
(Jon Lloyd(デンマーク))
18:00 休憩
18:00 レセプション(~20:00)
9月28日(木) 9:00 セッション3「観測手法の改良について」
9:00 フラックスにおける垂直流と圧力効果の補正(K.Wilson(米))
9:30 複雑地形におけるフラックス評価のための補正(R.Leuning(豪))
10:00 日本の複雑地形森林への適用について(大阪府大 文字)

- 10:30 コーヒーブレイク
 11:00 温帯林における界面大気交換の年変動(H.Dolman(蘭))
 11:30 タワー観測法のためのマルチ応答計画(Lianhong Gu(米))
 12:00 討論
 12:30 昼食
- 13:30 セッション4「トレースガスの観測手法について」
 13:30 渦相関法によるト्रेसガフラックス観測(J.Kim(韓))
 13:55 傾度法による連続メタン観測手法(農環研 原 蘭)
 14:20 IASC-FATEプロジェクトにおけるト्रेसガフラックス観測
 (T.Christensen(スウェーデン))
 14:45 討論
 15:00 コーヒーブレイク
- 15:30 セッション5「アジアフラックスのサイトからの報告」
 15:30 北タイにおける土地利用タイプごとのフラックス観測
 (S.Boonyawat(タイ))
 15:40 韓国の森林、水田、海岸におけるガフラックス観測
 (J.Kim&K.Wontae(韓))
 15:50 シベリアからの報告1(名古屋大 下山)
 16:00 シベリアからの報告2(岩手大 太田)
 16:10 東シベリアタイガ林のフラックスサイトの運営(北大 町村)
 16:20 中国北部の実験林におけるフラックス観測報告(F.Shi(中国))
 16:30 中国における生態系研究ネットワーク(S.Zhao(中国))
 16:40 中国熱帯林におけるフラックス観測(Xu(中国))
 17:00 ポスターセッション(~19:00)

- 9月29日(金) 9:00 セッション7「共同研究の推進と関連討論」
 9:00 GAMEプロジェクトとの共同研究(筑波大 杉田)
 9:20 討論(~10:15)
 10:15 閉会あいさつ
 北海道大学総長 丹保
 10:30 現地視察出発
 12:00 北大苫小牧地方演習林視察
 13:00 昼食(北大苫小牧演習林)
 14:00 苫小牧フラックスリサーチサイト視察
 15:00 現地出発 新千歳空港へ

6. 連絡・問合せ先

国立環境研究所地球環境研究センター 観測担当 藤沼、高田、田代
 〒305-0053 茨城県つくば市小野川16-2
 TEL 0298-50-2348 FAX 0298-58-2645
 E-mail cgermodb@nies.go.jp
 Web Site http://www-cger.nies.go.jp/~moni/flux/asia_flux/